

## 外務省及び防衛省からの説明

日時：平成27年5月12日（火） 午前8時45分から

場所：瑞穂町役場仮庁舎会議室

### （外務省発言）

瑞穂町石塚町長様を始め、瑞穂町の皆様におかれましては、日頃より我が国の安全保障のために日米同盟及び横田飛行場における米軍の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本日は、CV-22オスプレイの我が国の配備に関しまして、米国政府から接受国通報がありましたので、その内容についてご説明させていただくためにお伺いいたしました。何卒よろしく願いいたします。

昨日（5月11日）、米国政府から日本政府に対し、2017年（平成29年）後半から、CV-22オスプレイを横田飛行場に配備する、という旨の接受国通報があり、本12日、米国防省がその内容を発表したところでございます。米側によると最初の3機を2017年（平成29年）後半に配備し、2021年（平成33年）までに計10機を配備するというところでございます。

CV-22は、米空軍仕様のティルト・ローター機であり、我が国への配備後は、アジア・太平洋地域に所在する米軍の特殊作戦部隊等を輸送する任務を担うことになると米国政府から説明を受けております。

政府としましては、我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、米国のアジア・太平洋重視政策や即応体制整備の一環として、高い機動力と広範な活動範囲を有するCV-22が我が国に配備されることは、日米同盟の抑止力・対処力の向上に資するほか、アジア・太平洋地域の安定にも資するという意義があるものと考えております。

米国がCV-22の配備先としてこの横田飛行場を選定した理由につきましては、米国政府からは、CV-22の任務を踏まえ、運用や訓練上のニーズ、機体整備のための施設が活用できること、10機のCV-22とその要員を受け入れるためのスペースを有していることなど、様々な点を総合的に勘案した結果、横田飛行場が最適であると判断した旨、説明を受けております。

本日は、昨日に米国政府から接受国通報がなされたことからご説明にあがりました。後日、政府から改めて詳細をご説明に参りたいと考えております。政府としては、地元の皆様の安心と安全の確保に取り組んで参る所存でございます。つきましては、今回の配備の意義についてご理解をいただき、引き続きのご協力をいただきたくお願い申し上げます。